

事業者

放課後等デイサービス自己評価表

公表年月日：令和 6年 3月 22日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備 業務改善	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	☐		グラウンドや体育館なども活用しながら十分なスペースのとれる場所で活動を行う事ができた。
	2 職員の配置数は適切であるか	☐		配置数が適切になる様、その都度配置出来ている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	☐		施設内、バリアフリーです。
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	☐		振り返りを行い、次の目標に繋がられるように、記録や会議を行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	☐		その都度、意見をいただいた際には、適宜対応している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	☐		ホームページで公表し、そのことをお知らせしている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		☐	外部評価は行っていません。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	☐		毎月研修を行うとともに、外部での研修にも参加している。

9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		半年に一度、見直しを行い、計画を作成している。
10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		子どもの発達に必要な5領域に沿ってアセスメントを行っている。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		事業所全体で活動プログラムを考えている。(計画会議を行っている)
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		グラントや体育館を活用しながら、活動の幅が広がる様に工夫している。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		子ども一人一人に合わせて計画作成を行うことができる。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日行っている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終了時、又は次の日のミーティングで情報共有を行っている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		ケース記録を記入し、記録の共有や支援の改善を行っている。
18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングや保護者からの聞き取り等を行い、計画の見直しを行っている。

適切な支援の提供

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ せて支援を行っているか	○		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者 が参画しているか	○		
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送 迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行 っているか	○		送迎時や担当者会議等で情報共有を行っている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている か			
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共 有と相互理解に努めているか			対象者なし
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、 それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか	○		学校や就労支援事業所と連携を図り、実習中の様子の共有や情報提供を行うな ど、連携に努めている。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センタ ー等の専門機関と連携し、助言や研修を受けて いるか		○	現在、行うことができていない為、今後検討していく。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がい のない子どもと活動する機会があるか	○		事業所主催のイベントに招いたり子ども食堂等のイベントにて交流できるような 場を設けている。

関係機関や保護者との連携

27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	☐		子ども部会等への参加を行っている。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	☐		家庭での様子をお聞きし、困っている事に対して一緒に考えたり、解決できるように支援を行っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		☐	ペアレント・トレーニングは行っていない。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	☐		入所前に行うことが出来ている。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	☐		相談等受けた際は、丁寧に傾聴し、適切に助言や支援等行うことが出来ている。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	☐		保護者会はないが、子ども食堂等保護者同士が交流できるばを提供している。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	☐		
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	☐		ホームページで活動の予定等、発信している。

保護者の説明責任等

35	個人情報に十分注意しているか	○		
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個々に合わせた情報伝達方法を取っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		作品展や運動会等、地域の方にも参加してもらえるようなイベントを開催し、招待している。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアル等、職員間での共有は出来ているが、保護者に向けての周知ができていなかった。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に避難訓練を行っている。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		3カ月に一度、研修とマニュアルの読み合わせを行っている。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		委員会を設定し、研修を行っている。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			

非常時等の対応